

プログラム

講演会場①：大ホール

10:00-11:00	【全体会議・ご挨拶】 1 (公財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター長 福島 雅典 2 厚生労働省 健康局疾病対策課長 田原 克志 3 (独)医薬品医療機器総合機構(PMDA) 理事長 近藤 達也 4 慶應義塾大学 医学部長 末松 誠 5 (一社)日本難病・疾病団体協議会(JPA) 代表理事 伊藤たてお
11:00-12:00	【プレナリーセッション】 Petra Kaufmann Director, Division of Clinical Innovation, National Center for Advancing Translational Sciences, National Institute of Health "Clinical Trials in Rare Diseases -NCATS Perspective"
12:00-13:00	休憩
13:00-14:00	【難治性疾患実用化研究/免疫性神経疾患・神経変性疾患】 国立病院機構宇多野病院 田原 将行 視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性を検証する第II/III相多施設共同プラセボ対照無作為化試験 聖マリアンナ医科大学 山野 嘉久 HAMに対するヒト化抗CCR4抗体の医師主導治験 東京大学医学部附属病院 辻 省次 多系統萎縮症の治療法開発研究 東北大学大学院 青木 正志 HGFを用いた筋萎縮性側索硬化症に対する治療法の開発 国立病院機構新潟病院 中島 孝 希少性神経・筋疾患治療のためのHAL-HN01医師主導医療機器治験の実施研究 ディスカッション
14:00-15:00	【難治性疾患実用化研究/結節性疾患、筋疾患・ミトコンドリア異常症】 新潟大学医学部総合病院 中田 光 リンパ管筋腫症に対するシロリムス長期投与の多施設共同医師主導治験・臨床研究 大阪大学大学院 金田 眞理 結節性硬化症の皮膚病変に対する有効で安全性の高い治療薬の開発と実用化 東北大学大学院 青木 正志 線取り空洞を伴う遠位型ミオパチーにおけるN-アセチルノイラミン酸の補充療法 川崎医科大学 砂田 芳秀 ミトコンドリア病MELASに対するタウリン補充療法 久留米大学 古賀 靖敏 ビルビン酸ナトリウムによるミトコンドリア病に合併した高乳酸血症治療薬の開発 ディスカッション
15:00-15:15	休憩
15:15-16:15	【難治性疾患実用化研究/循環器疾患】 大阪大学大学院 平野 賢一 中性脂肪蓄積心筋血管症-この難病を1日でも早く克服する- 大阪大学大学院 澤 芳樹 小児重症拡張型心筋症へのbridge-to-transplantation/recoveryを 目指した骨格筋芽細胞シートの開発と実践 大阪大学大学院 宮川 繁 重症拡張型心筋症患者の生命予後改善・人工心臓離脱を目指した新規オキシム誘導体徐放性製剤による体内誘導再生治療法の開発と実践 九州大学大学院 江頭 健輔 重症肺高血圧症の予後と生活の質を改善するためのナノ医療製剤(希少疾病用医薬品)の実用化臨床試験 東邦大学医療センター佐倉病院 武城 英明 家族性LCAT欠損症患者に対する細胞加工医療品「LCAT遺伝子導入ヒト前脂肪細胞」の早期実用化にむけた非臨床試験 ディスカッション
16:15-17:15	【難治性疾患実用化研究/自己免疫疾患】 埼玉医科大学 宮川 義隆 血栓性血小板減少性紫斑病に対するリツキシマブの医師主導治験 東北大学大学院 石井 智徳 強皮症難治性皮膚潰瘍に対する低出力衝撃波療法の有効性安全性検証試験 東京医科歯科大学大学院 上阪 等 多発性筋炎・皮膚筋炎への分岐鎖アミノ酸製剤の薬事承認に向けた研究 慶應義塾大学 金井 隆典 難治性クローン病に対する神経難病治療薬OCH-NCNPの有用性および安全性の検証 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 山村 隆 多発性硬化症に対する新規経口薬の医師主導治験 ディスカッション
17:15-17:30	【総括・閉会の辞】

プログラム

講演会場②：中会議室II

13:00-14:00	【腎疾患実用化研究/腎疾患の進展防止と新バイオマーカー】 岡山大学大学院 和田 淳 糖尿病性腎症の糖鎖プロファイリングによる新規バイオマーカーの同定 東京医科歯科大学 内田 信一 WNKシグナル阻害薬のケミカルライブラリースクリーニング 福島県立医科大学 渡辺 毅 特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な慢性腎臓病(CKD)地域連携システムの制度設計 金沢大学 和田 隆志 糖尿病性腎症ならびに腎硬化症の診療水準向上と重症化防止にむけた調査・研究 順天堂大学 鈴木 祐介 IgA腎症新規バイオマーカーを用いた尿尿の2次スクリーニングの試み ディスカッション
14:00-15:00	【慢性的痛み解明研究/慢性痛の評価と診断】 講師 自然科学研究機構 生理学研究所 柿木 隆介 「ヒトにおける痛覚の脳内認知機構」 九州大学病院 細井 昌子 慢性疼痛のトランスレーショナルリサーチ —精神心理学的・神経免疫学的側面からの病態解明と評価法開発— 東京慈恵会医科大学 加藤 総夫 診断・治療法の開発を目指した痛みの慢性化脳機構に関するトランスレーショナル研究 東京医科大学 松本美富士 線維筋痛症の病因・病態の解明と客観的診断・評価法の開発及びトータルマネジメントの確立に関する戦略的総合研究 ディスカッション
15:00-15:15	休憩
15:15-17:00	【難治性疾患実用化研究/遺伝子検査全国ネットワークの構築】 東京大学医学部附属病院 辻 省次 神経疾患の集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究 国立精神・神経医療研究センター 西野 一三 遺伝性ミオパチーの次世代型統合的診断拠点形成 国立成育医療研究センター 松原 洋一 小児科・産科領域疾患における遺伝子・エピゲノム解析ネットワークの整備 横浜市立大学 松本 直通 遺伝性難治性疾患の網羅的遺伝子解析拠点研究 大阪大学大学院 高島 成二 創薬開発に向けた循環器病ゲノム解析 京都大学大学院 松田 文彦 日本人の稀少難治性疾患の統合オミックス解析 名古屋大学大学院 祖父江 元 孤発性ALS患者大規模前向きコホートの臨床バイオリソース・ゲノム遺伝子・不死化細胞を用いた病態解明・治療法開発研究 国立病院機構東京医療センター 岩田 岳 遺伝性網膜脈絡膜疾患の生体試料の収集と病態解明 ディスカッション

プログラムの内容は予告なく変更される場合があります。

会場のご案内



ポスター展示 10:00~17:00

ポスター展示会場① 中会議室I

- ◆感染症 ◆筋・骨格 ◆呼吸器
- ◆消化器 ◆皮膚 ◆眼
- ◆免疫 ◆血液 ◆産科系疾患
- ◆循環器 ◆精神・神経 ◆代謝・内分泌
- ◆腎臓 ◆疼痛

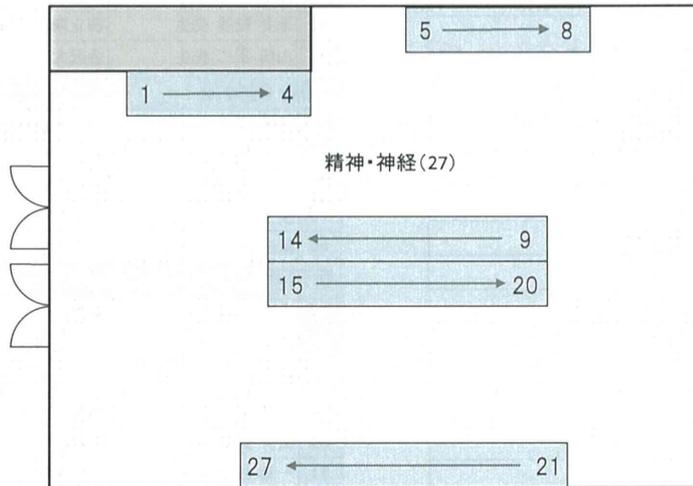
ポスター展示会場② 小ホール

- ◆精神・神経

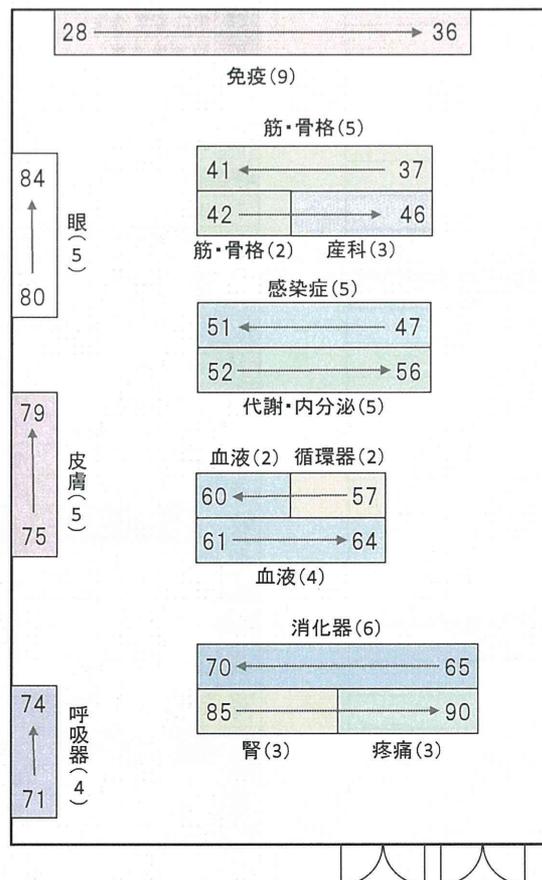
難治性疾患実用化研究		
精神・神経		
1	齋藤 加代子 先生	東京女子医科大学
2	富田 敏男 先生	東北大学
3	山梨 裕司 先生	東京大学
4	北條 浩彦 先生	国立精神・神経医療研究センター
5	山内 淳司 先生	国立成育医療研究センター
6	高嶋 博 先生	鹿児島大学
7	青木 正志 先生	東北大学
8	山村 隆 先生	国立精神・神経医療研究センター
9	佐藤 敦志 先生	東京都医学総合研究所
10	井上 健 先生	国立精神・神経医療研究センター
11	山野 嘉久 先生	聖マリアンナ医科大学
12	熊ノ郷 淳 先生	大阪大学
13	戸田 達史 先生	神戸大学
14	高橋 良輔 先生	京都大学
15	小崎 健次郎 先生	慶應義塾大学
16	廣瀬 伸一 先生	福岡大学
17	吉良 潤一 先生	九州大学
18	山本 俊至 先生	東京女子医科大学
19	加藤 光広 先生	山形大学
20	和田 敬仁 先生	京都大学
21	船戸 道徳 先生	国立病院機構長良医療センター
22	水澤 英洋 先生	国立精神・神経医療研究センター
23	楠 進 先生	近畿大学
24	中川 正法 先生	京都府立医科大学
25	岡山 昭彦 先生	宮崎大学
26	高木 正稔 先生	東京医科歯科大学
27	黒滝 直弘 先生	長崎大学
免疫		
28	住田 孝之 先生	筑波大学
29	尹 浩信 先生	熊本大学
30	竹内 勤 先生	慶應義塾大学
31	野々山 恵章 先生	防衛医科大学校
32	川上 純 先生	長崎大学
33	平家 俊男 先生	京都大学
34	三森 経世 先生	京都大学
35	齊藤 幸裕 先生	旭川医科大学
36	藤野 明浩 先生	慶應義塾大学
筋・骨格		
37	秋山 治彦 先生	岐阜大学
38	大野 欽司 先生	名古屋大学
39	岩本 幸英 先生	九州大学
40	岡田 洋平 先生	愛知医科大学
41	梶 龍兒 先生	徳島大学
42	吉浦 孝一郎 先生	長崎大学
43	松本 守雄 先生	慶應義塾大学
産科系疾患		
44	有馬 隆博 先生	東北大学
45	青木 洋子 先生	東北大学
46	深見 真紀 先生	国立成育医療研究センター

感染症		
47	桑田 一夫 先生	岐阜大学
48	藤原 成悦 先生	国立成育医療研究センター
49	堂浦 克美 先生	東北大学
50	永井 義隆 先生	国立精神・神経医療研究センター
51	山田 正仁 先生	金沢大学
代謝・内分泌		
52	依藤 亨 先生	大阪市立総合医療センター
53	宮田 敏男 先生	東北大学
54	鏡 雅代 先生	国立成育医療研究センター
55	荻 朋男 先生	長崎大学
56	深尾 敏幸 先生	岐阜大学
循環器		
57	小室 一成 先生	東京大学
58	森崎 隆幸 先生	国立循環器病研究センター
血液		
59	小島 勢二 先生	名古屋大学
60	高折 晃史 先生	京都大学
61	一瀬 白帝 先生	山形大学
62	村上 良子 先生	大阪大学
63	林 泰秀 先生	群馬県立小児医療センター
64	村山 圭 先生	千葉県がんセンター
消化器		
65	北村 和雄 先生	宮崎大学
66	田口 智章 先生	九州大学
67	仲 哲治 先生	医薬基盤研究所
68	渡辺 守 先生	東京医科歯科大学
69	松本 主之 先生	岩手医科大学
70	鹿毛 政義 先生	久留米大学
呼吸器		
71	讃岐 徹治 先生	熊本大学
72	藤枝 重治 先生	福井大学
73	井上 義一 先生	国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
74	本間 栄 先生	東邦大学
皮膚		
75	中神 啓徳 先生	大阪大学
76	玉井 克人 先生	大阪大学
77	阿部 理一郎 先生	北海道大学
78	峯岸 克行 先生	徳島大学
79	杉浦 一充 先生	名古屋大学
眼		
80	阿部 俊明 先生	東北大学
81	池田 華子 先生	京都大学
82	外園 千恵 先生	京都府立医科大学
83	西田 幸二 先生	大阪大学
84	錦織 千佳子 先生	神戸大学
腎疾患実用化研究		
腎		
85	山縣 邦弘 先生	筑波大学
86	伊藤 裕 先生	慶應義塾大学
87	成田 一衛 先生	新潟大学
慢性の痛み解明研究		
疼痛		
88	横田 隆徳 先生	東京医科歯科大学
89	池田 修一 先生	信州大学
90	柴田 政彦 先生	大阪大学

■ 小ホール



■ 中会議室 I



(資料20-4)
※原本を巻末に収録

平成 26 年度厚生労働科学特別研究事業 進捗管理班
(難治性疾患実用化研究・腎疾患実用化研究・慢性の痛み解明研究)
成果報告会

難病制圧に 向けて

—アカデミアにおけるイノベーション創出の現状と展望—

抄録集

日時

2015年3月13日(金)
10:00~17:30

場所

東京コンベンションホール
東京都中央区京橋三丁目 1-1 東京スクエアガーデン 5F

(公財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目5番地4 TEL.078-303-9103 HP: <http://www.tri-kobe.org>

2014年度 疾病対策課関連事業 成果報告会 2015年3月13日(金) (於:東京コンベンションホール)

【B案】:全体会議+プレナリー+ポスター掲示(午前)、ポスターセッション+selected papers シンポジウム(午後)

()内はシアター形式席数

	大ホールA(228)	大ホールB(228)	中会議室I・ABC(210)	中会議室II・ABC(210)	小ホール(108)
10-11時	全体会議		ポスター 50枚	ポスター 50枚	ポスター 24枚
11-12時	プレナリーセッション				
12-13時	Lunch Break				
13-14時	ホール分割(1時間強)		ポスターセッション 50枚	ポスターセッション 50枚	ポスターセッション 24枚
14-15時	シンポジウム (selected papers) 5課題/各10分+ディスカッション10分	シンポジウム (selected papers) 5課題/各10分+ディスカッション10分	ポスター撤去 ※1時間で可能か要確認	ポスター撤去 ※1時間で可能か要確認	ポスター撤去 ※1時間で可能か要確認
15-16時	シンポジウム (selected papers) 5課題/各10分+ディスカッション10分				
16-17時	シンポジウム (selected papers) 5課題/各10分+ディスカッション10分				

大ホールA+B(500)

中会議室I・IIは各3分割可

<疾病対策課関連事業全124課題の分類>

■疾患分野別分類

	疾患分野別	課題数
1	精神・神経	36
2	筋・骨格	10
3	免疫	10
4	循環器	9
5	腎	8
6	代謝・内分泌	7
7	血液	7
8	消化器	7
9	皮膚	6
10	眼	6
11	産科関連疾患	5
12	感染症(プリオン含む)	5
13	疼痛	4
14	呼吸器	4
	合計	124

■事業別分類

	事業別	課題数
1	難治性・疾患ステップ1	17
2	難治性・疾患ステップ2	17
3	難治性・革新的医薬品	52
4	難治性・診療の質	18
5	難治性・遺伝子	6
6	難治性・生体試料	2
7	腎疾患	8
8	痛み	4
	合計	124

【備考】 昨年の文科省・厚労省成果報告会でのポスター掲示実績
 中会議室I・II: 各62枚
 小ホール: 38枚

(資料22)

平成26年度厚生労働科学特別研究事業 進捗管理班 成果報告会
2015年3月13日(金)
オンライン参加登録受付フォーム

参加者

氏名(必須/全角日本語) 姓 名

ふりがな(必須/全角日本語) 姓 名

所属[会社・機関名](必須)

所属[部署]

所属の категория(必須)
 大学(大学病院含む) 病院 研究機関 企業 一般 報道関係 官公庁 その他

本事業に関する研究分担の有無 研究分担あり- 研究班代表者名
 研究分担なし

参加予定日(必須) 3月13日(金)参加

連絡先

連絡先(必須) 勤務先 自宅

郵便番号(必須/半角数字とハイフン)

都道府県(必須)

住所(必須)

電話番号(必須/半角数字とハイフン) 内線番号

FAX番号(半角数字とハイフン)

電子メールアドレス(必須/半角英数字記号)
※携帯電話のメールアドレスはご利用にならないでください。
 ※電子メールのアドレスを再度入力してください。

アンケート

これまでに当財団が主催するイベントに参加したことがありますか?(必須) ある ない

ホームページ - タイトル

ポスター - 場所

電子メール

新聞 - 新聞名 発行日

どちらでこのイベントをお知りになりましたか?(必須)

ダイレクトメール(郵送)

本事業関係者からの紹介 - 具体的に

知人からの紹介

その他 - 具体的に

個人情報の取り扱いについて

当財団の方針については、<http://www.ihri-kebe.org/iehg/>をご覧ください。

ご登録いただいた個人情報は、サービス及びイベント・セミナー等のご案内、カタログ等の各種資料のご提供、ご送付のために使用させていただく場合があります。

当サイトでは、個人情報を入力するページに暗号化技術のSSL(セキュア・ソケット・レイヤー)を導入しています。

SSLに対応していないブラウザをご利用の場合は、送信できない場合がありますので、ご了承ください。

[トップページへ](#)

[入力内容確認へ](#)

オンライン参加登録に関するお問合せはこちら → mhlw-tri2014@congre.co.jp

© mhlw-tri2014@congre inc.

難治性疾患実用化研究・腎疾患実用化研究・慢性の痛み解明研究
に関連する研究開発管理の実施・評価に関する研究
平成 26 年度厚生労働科学特別研究事業 進捗管理班 成果報告会

平成 26 年度成果報告会 発表資料・抄録作成要領

【1. 発表】下記の要領で発表スライドの作成をお願い致します。

時 間 : 発表 10 分 (質疑応答は別途設けます)

方 法 : Microsoft Power Point によるプレゼンテーション (スライド 10 枚程度)

発表課題 : 成果報告会プログラムに記載の課題についてご発表をお願いいたします。

発表内容 : 開発研究の場合は、以下の項目を適宜含めてください。
それ以外の課題については、独自で設定された研究のマイルストーンに準じて作成ください。

1. 試験物・開発技術の概要と対象疾患
2. 知財権の確保状況
3. 開発のロードマップ (特に薬事承認または保険医療化までの見通し)
4. 開発の進捗状況 (製造、非臨床試験、臨床試験)
5. 治療学的なポジショニングと競合製品

提出期限 : 平成 27 年 2 月 27 日 (金)

提出方法 : 成果報告会事務局 (mhlw-tri2014@congre.co.jp) 宛に、上記スライドデータを添付のうねメールでお送りください。

6 メガ以上のデータの場合、圧縮していただくか、オンレインストレージなどをご利用ください。

発表データの差し替えにつきましては、当日 PC 受付で承ります。

【2. 抄録】抄録集を作成いたしますので以下の資料のご準備をお願いいたします。

形 態 : A4 見開き 2 頁分 ※日本語・英語で併記

(左側: ①プロフィール ②顔写真 ③研究タイトル ④研究概要 / 右側: ⑤スライド 3 枚)

提出資料 : ① 研究者プロフィール (略歴、所属、役職、専門領域等を日本語 100 字以内、英語 50 words 以内でお願いいたします)

② 顔写真 (JPEG データ)

③ **研究タイトル**

④ 研究概要 (日本語 600 字以内、英語 200 words 以内でお願いいたします)

⑤ 抄録用プレゼンテーション資料 (PPT スライド各 3 枚 (日本語・英語)、PDF データ)

※ ①③④⑤については、日本語・英語でご準備をお願い致します。

※ 資料・スライド等には、未発表・公開不可の情報が記載されないようご注意ください。

提出期限 : 平成 27 年 1 月 30 日 (金)

※ 上記発表用スライドの期限より早い日程となりますのでご留意願います。

提出方法 : 成果報告会運営事務局 (mhlw-tri2014@congre.co.jp) 宛に、上記①～⑤データを添付のうねメールでお送りください。容量が多い場合は、件名に通し番号を付して分けてお送り下さい。

以上

難治性疾患実用化研究・腎疾患実用化研究・慢性の痛み解明研究
に関する研究開発管理の実施・評価に関する研究
平成 26 年度厚生労働科学特別研究事業 進捗管理班 成果報告会

平成 26 年度成果報告会 ポスター・抄録作成要領

【1. ポスター】研究課題に関し、下記の要領でポスターの作成をお願い致します。

ポスターサイズ : A0 サイズ 1 枚 (カラー)

掲示概要 : 平成 26 年度厚生労働科学研究費 (補助金・委託費) 採択課題
(難治性疾患性疾患実用化研究・腎疾患実用化研究・慢性の痛み解明研究)
を疾患別に分類した上で、掲示していただきます。

掲示内容 : 採択課題についてのポスターを作成願います。
フォーマットの指定は特にございませませんが、開発研究の場合は、以下の項目
を適宜含めてください。それ以外の課題については、独自で設定された研究
のマイルストーンに準じて作成ください。

1. 試験物・開発技術の概要と対象疾患
2. 知財権の確保状況
3. 開発のロードマップ (特に薬事承認または保険医療化までの見通し)
4. 開発の進捗状況 (製造、非臨床試験、臨床試験)
5. 治療学的なポジショニングと競合製品

掲示場所 : 東京コンベンションホール ポスター展示会場①②
(掲示会場は、別紙「ポスター会場振り分け表」をご確認ください。)
(ポスター番号は、改めてご連絡致します。)

掲示方法 : 成果報告会当日 (3 月 13 日) 午前 9 時～10 時までに各発表者ご自身で掲示
していただきます。(掲示に必要な備品は事務局でご用意致します。)
掲示ポスターを持ち帰られる方は午後 5 時～5 時 30 分までに会場にお越し下
さい。
**※ポスターに関しては、成果報告会終了後に PDF データでご提出頂く予定で
すので、それまでにご準備をお願い致します。**

【2. 抄録】抄録集を作成いたしますので以下の資料のご準備をお願いいたします。

形態 : A4 片面 1 頁分
(①プロフィール ②顔写真 ③研究タイトル ④研究概要)
※日本語・英語で併記

提出資料 : ① 発表者プロフィール (略歴、所属、役職、専門領域等を日本語 : 100 字
以内、英語:50 words 以内でお願いいたします)
② 顔写真 (JPEG データ)
③ **研究タイトル**
④ 研究概要 (日本語:600 字内、英語:200 words 以内でお願いいたします)
※ ①③④については、日本語・英語でご準備をお願い致します。
※資料・スライド等には、未発表・公開不可の情報が記載されないよう
ご注意ください。

提出期限 : 平成 27 年 1 月 30 日 (金)

提出方法 : 成果報告会運営事務局 (mhlw-tri2014@congre.co.jp) 宛に、上記①～④デー
タを添付のうえメールでお送りください。容量が多い場合は、件名に通し番
号を付して分けてお送り下さい。

以上

平成 26 年度成果報告会

【難病制圧に向けて アカデミアにおけるイノベーション創出の現状と展望】

日 時 : 2015 年 3 月 13 日 (金) 10:00~17:30 (9:30 開場)
 場 所 : 東京コンベンションホール (東京スクエアガーデン 5 階)

〈ポスター展示会場振り分け〉

会場のご案内



ポスター展示 10:00~17:00

ポスター展示会場① 中会議室 I

- ◆感染症 ◆筋・骨格 ◆呼吸器
- ◆消化器 ◆皮膚 ◆眼
- ◆免疫 ◆血液 ◆産科系疾患
- ◆循環器 ◆精神・神経 ◆代謝・内分泌
- ◆腎臓 ◆疼痛

ポスター展示会場② 小ホール

- ◆精神・神経

〈プログラム案〉

	講演会場① 大ホール	講演会場② 中会議室 II	ポスター展示会場①、②/ 中会議室 I 小ホール
9:00- 10:00			9:00-10:00 ポスター掲示
10:00- 11:00	【全体会議・ご挨拶】		10:00-17:00 【ポスター展示：90 課題】
11:00- 12:00	【プレナリーセッション】		
12:00- 13:00	休憩		
13:00- 17:15	【オーラル発表：20 課題】	【オーラル発表：16 課題】	(17:00 終了) ※ポスターを持ち帰られる方は 17:00-17:30 間に会場へお戻りくだ さい。
17:15- 17:30	【総括・閉会の辞】		

2015年3月3日

厚生労働省 健康局疾病対策課
課長 田原 克志 様

平成 26 年度 厚生労働科学特別研究事業 進捗管理班 成果報告会
ご挨拶に関するご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度は、標記成果報告会でのご挨拶をご快諾くださり、誠にありがとうございます。

ご挨拶いただくにあたり、以下のとおりご案内申し上げます。

このような機会に貴重なお話を賜れますこと、重ねてお礼申し上げます。

当日は何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記

【日程・会場】

日 程 2015年3月13日(木) 10:00-17:30 (控室:小会議室B)
会 場 東京コンベンションホール (JR 東京駅より徒歩 5 分)
東京都中央区京橋三丁目 1-1 東京スクエアガーデン 5F
http://tokyo.conventionhall.jp/data/access_print.pdf

【ご挨拶に関して】

1 お時間: 10:20-10:30 大ホール (10 分間/日本語)

- ① 関係者受付でお名前をお伝え頂き、9:00~9:30 の間に上記控室にお越し下さい。
- ② PPTスライドをご利用の場合は、10日(火)までに、成果報告会運営事務局(株式会社
コングレ:mhlw-tri2014@congre.co.jp)までデータのご送付をお願いします(同時通訳参
照のため)。
- ③ 当日スライドの差替え等をご希望の場合は、9:30 までにPC受付(別紙ご参照)をお願
いいたします。
- ④ ご挨拶終了 2 分前にランプ点灯、終了のお時間になりましたらランプとベルでお知ら
せいたします。

2 報道機関

- ① 本成果報告会は一般公開となりますので、報道関係の方々の取材が予想されます。
- ② 2月27日現在でお申し込みがあった報道機関は以下の通りです。
日経バイオテック・日本経済新聞社・読売新聞社・
日刊薬業・薬事ニュース社・Core Net.com
- ③ 個別の取材のお申し込みがあった場合については、各位のご判断にてご対応くださ
いますようお願い申し上げます。

【緊急連絡先】

当日、緊急の御用件がある場合は、事業事務局(臨床研究情報センター内:078-303-9103)へ
ご連絡お願い申し上げます。

以上

【お問い合わせ先】

疾病対策課関連事業事務局(研究代表者:福島雅典)
(公財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター(TRI)
湯川明子・栗田加奈子
TEL: 078-303-9103 E-Mail: shippeitaisaku@tri-kobe.org